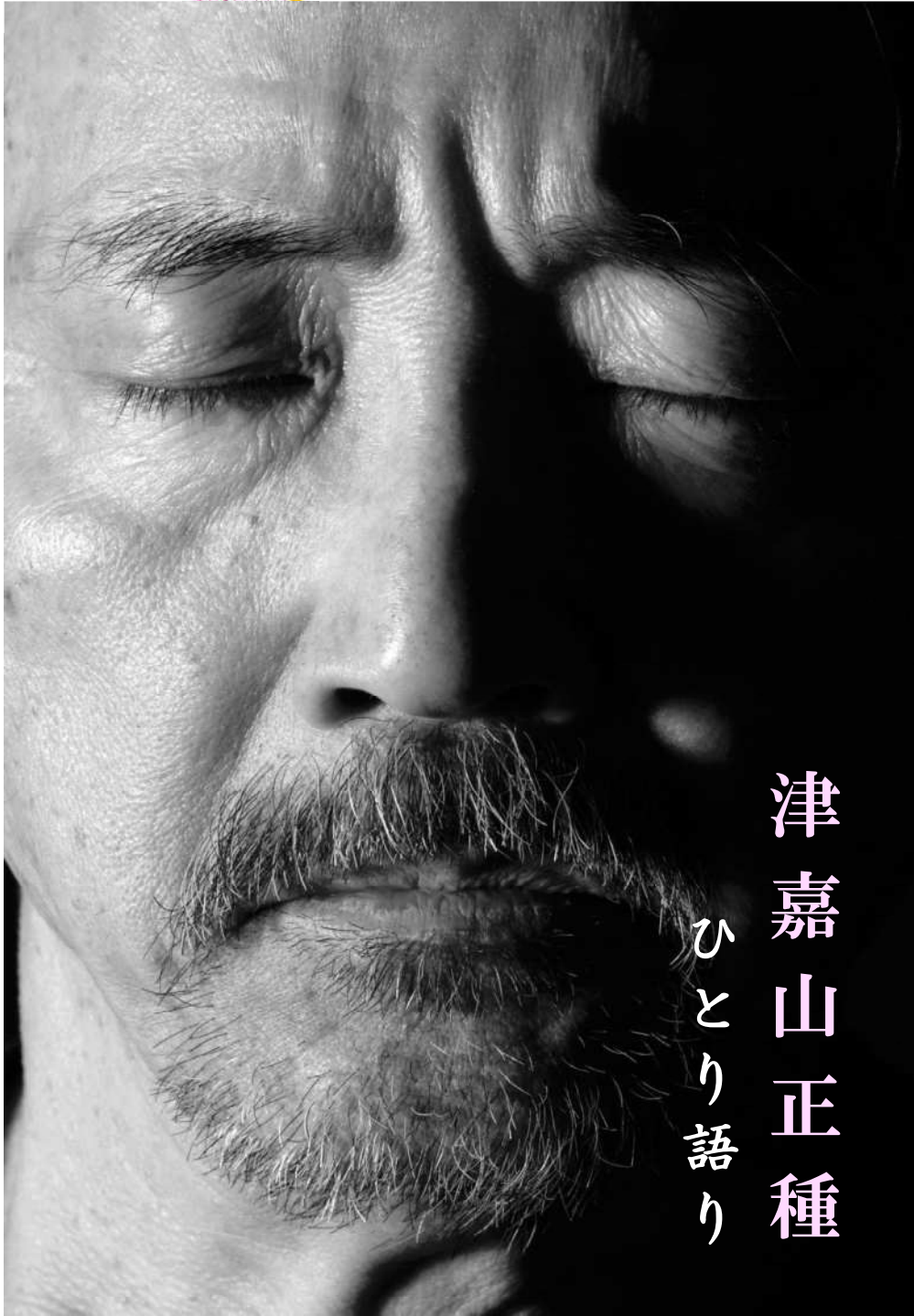


朗読劇



津嘉山正種  
ひとり語り

沖縄の魂  
瀬長亀次郎物語

原案=謝名元慶福

構成台本=津嘉山正種

演出=菊地一浩

写真=坂本正郁

2022年6月4日(土) ウェスタ川越小ホール  
13:00開場 13:30開演

料金(前売り): [全席自由] 2,500円(当日300円増)

チケット発売開始: 4月9日(土) 【取扱い】 ウェスタ川越 総合案内(1F) TEL:049-249-3777  
窓口販売のみ 9:00~19:00

Peace やまぶき事務局 TEL:049-265-4631

【後援】 川越市

【協力】 劇団青年座

【主催】 特定非営利活動法人 Peace やまぶき (月・水・金 10~15:00)

川越市松江町 1-5-5 エスポアール川越 202

TEL:049-265-4631/FAX:049-265-4635

HP: <https://peaceyamabuki.jimdo.com/> Mail: [peaceyamabuki@tbz.t-com.ne.jp](mailto:peaceyamabuki@tbz.t-com.ne.jp)

※この公演での余剰金はウクライナ緊急支援として寄付させていただきます。



# 七劇団青年座

## 津嘉山正種 ひとり語り

あらすじ

米軍占領下の沖縄で、度重なる人権侵害と弾圧にも屈せず、米軍に立ち向かった男がいた。沖縄が生んだ不屈の政治家——瀬長亀次郎。

不当な裁判で刑務所へ送られながらも出獄後、那覇市長に当選。真の民主主義の確立を目指し、祖国復帰のために民衆と共に闘った

亀次郎が演説会を開けば、何万人もの聴衆を集め、県民の心を捉え希望を与えた。

「この瀬長ひとりが叫んだならば、50メートル先まで聞こえます。ここに集まった人々が声をそろえて叫んだならば、全那覇市民にまで聞こえます。沖繩70万県民が声をそろえて叫んだならば、太平洋の荒波を超えてワシントン政府を動かすことができませぬ。」

瀬長亀次郎、その波瀾万丈の人生を津嘉山正種が魂を込めて語る。



沖繩刑務所を出所する瀬長亀次郎氏  
1956年4月頃



### 津嘉山 正種(つかやま まさね)

『人類館』に続く津嘉山正種ひとり語り「沖縄の魂」シリーズ第2弾。

戦後の沖縄。米軍の土地強奪と人権蹂躪に、断固として反対し、「土地代金を払え」「水代を払え」と叫び続けた瀬長亀次郎。米軍の不当な裁判で刑務所に送られながら、出獄後、那覇市長に当選し、民主主義と祖国復帰の旗を高く掲げ、民衆とともに沖縄の歴史を切り開いてきた波乱万丈の人生が蘇る。

#### 【プロフィール】

1944年生まれ。沖縄県那覇市出身。1965年劇団青年座に入団。

1987年「NINAGAWAマクベス」ロンドン・ナショナルシアター公演では、主役を務めた。主な舞台としては、『無法松の一生』『殺陣師段平』『黄昏』『朝食まで居たら?』(以上青年座)、『夜への長い旅路』『喪服の似合うエレクトラ』(以上新国立劇場)など。

また、映画「男はつらいよ」シリーズ、テレビドラマ「踊る大捜査線」シリーズなどの出演の他、ナレーション、洋画の吹き替えなど声の出演多数。近年はNTV「同期の桜」、NHK・BS「ファーストラヴ」、2022年1月よりNTTドコモCM「おじいちゃんがスマホに替えた」篇に出演。

1996年「シャドー・ランズ」で読売演劇大賞優秀男優賞受賞

2010年「黄昏」で芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。

2021年 第15回声優アワード功労賞受賞



## 川越から沖縄を考える6月 連続企画

### Part 2 映画「サンマデモクラシー」(99分)

6月10日(金) ウェスタ川越小ホール

開演 ①10:20~ ②13:20~

料金:一般1,000円(当日1,200円)

学生(中高大)500円 障害者500円

主催:映画を見る会

### Part 3 歌声喫茶 ともしび in 川越

6月16日(木) ウェスタ川越小ホール

開場 13:30 開演 14:00

料金:[全席自由] 2,000円

主催:新宿ともしび

### ウェスタ川越

埼玉県川越市新宿町 1-17-17

JR 川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩約5分

